

学力向上に効果のある取組事例

佐伯市立佐伯南中学校

⑱その他(組織的な学校教育目標達成の取り組み)

取組の具体

○重点目標(思考力・判断力・表現力向上)達成に向けた、全体【職員会議, 研修, 学年会】と部会等【教科等部会, プロジェクトチーム(以下PT), 各種委員会, 生徒会等】が連動した組織的な取り組み(RPDCAサイクルの実践)。

1 部会等の実施頻度

- (1) 教科等部会は、適宜(原則、週1回)
- (2) PT・各種委員会は、原則月1回。

2 全体と部会等の活動・関わり

	全体	部会等
R	実態認識 問題点の共有	情報収集・提示 (整理と方向付け)
P	到達目標設定 取組設定	課題設定 取組案の提示
D	実践	情報・内容の整理・ 分析 (フィードバック)
C・A	経過と成果の交流・ 共有 変容の確認	情報収集・提示

3 PT会議記録用紙(一部):4点セットとの連動

6月2日(水) 第2回PT会議 記録用紙		依前南中校区CS「未来創造」の教育目標 「未来」を創る力を身につけ、たくましく生きる児童・生徒の育成	
学校教育目標:「未来を創造する力」を身に付け、自ら考え、判断し、表現できる生徒の育成		依前南中校区CS育成を目指す資質・能力 自分の言葉で表現する力 目標に向かい敬働して高め合う力	
重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標
組織と自信をもつて表現できる 「生徒の学び」の成果を自ら発表する	【数】 ○各教科の授業が5分単位で進められ、授業内容が明確に伝わる →50%未満	○授業改善による授業の質の向上 ○授業内容や条件設定を改善し、生徒の学びの質を向上させる →50%未満	○研修計画の中で提案済み(報告・学習)
【数】 ○授業中、生徒の発言が授業の進め方に影響を及ぼす →50%以上	○自習時間や自由時間での活動 ○生徒会の活動や生徒会活動の推進	○授業者は、「考え、議論する」授業を積極的に行う ○専門部会を支援強化させ、活動内容を随時評価・改善する(部会・教科等部会・学年への情報など活動を見せる) ○生徒会活動の推進 ○生徒会活動の推進 ○生徒会活動の推進	○5月から活動ができるように準備を進めることができた。
【数】 ○学年や学年、生徒の学びの質を向上させる →50%未満	○生徒の学びの質を向上させる →50%未満	○生徒の学びの質を向上させる →50%未満	○生徒会活動の推進 ○生徒会活動の推進 ○生徒会活動の推進

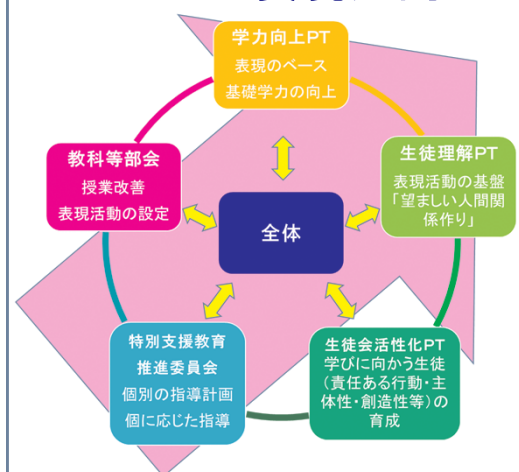
*各PTの提案が、「思考力・判断力・表現力向上」のゴールを見通した活動になっており、全体での位置付けが明確である。そのため、各PT間、各教科等との活動が連動し、より効果を生む。

学校教育目標・CS教育目標達成



組織的取組(イメージ図)

思考力・判断力・表現力向上



各部会等が連動した思考力・判断力・表現力向上の推進。(イメージ図)